



たくさんのご寄附 ありがとうございます！ ございます！

2023年 2月

市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからも魅力ある旭川のまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。



中村副市長

旭川トヨペット(株)様
代表取締役社長 遠藤 稔様(右)
5,000,000円(保健所にトヨタハイエース1台)



トヨタカローラ旭川(株)様
600,000円(環境基金)



旭川南ロータリークラブ様
会長 南口龍幸様(右)
2,000,000円(新庁舎で使用する待合ベンチ)

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。寄贈は相当額。



各種基金
の詳細は
こちら

ASAHIKAWA 100 PRIDE アサヒカワ 100 プライド Vol.1 逸品編

ASAHIKAWA 100 PRIDE とは？

昨年、市制施行100年を迎えた旭川市。100年の歴史の中で様々な産業が発展してきました。このコーナーでは、その中から「旭川発！全国・世界」へ羽ばたいている逸品をご紹介します！

「畑で料理を作る」がキャッチフレーズ

忙しい毎日を手助けしてくれる惣菜。全国の大手スーパーなどに並ぶヤマザキの「もう一品 北海道男爵のポテトサラダ」は、主に旭川工場で作られています。ポテトサラダで同社は国内トップシェア。月に200万パックが、旭川から出荷されています。

工場には道内各地から年4,000tのジャガイモが届き、温度と湿度を保つために雪で冷やした倉庫で貯蔵しています。巨大な機械が高速稼働し、多くの従業員が活躍。ジャガイモは産地や気候によって風味や触感が変わりますが、おいしさを維持し向上させるため、複数人で毎日味をチェック。製造方法を調整します。また毎年、農家が工場を、従業員が畑を訪問。品質向上へ切磋琢磨を重ねています。

旭川は移動や物流に適し、人材確保の利点もあって選ばれました。工場長の柴山昭人さんは「畑から消費者までの情報を集約してより良い商品を作り、ジャガイモ本来の味と香りをお届けしたい」と話します。

さらに詳しい
情報はこちら



北海道男爵の
ポテトサラダ
(株)ヤマザキ



(株)ヤマザキ
旭川工場長の
柴山昭人さん



芽を取り除く従業員の皆さん



倉庫にある雪とジャガイモ